



## 2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年11月5日  
上場取引所 東

上場会社名 マルハニチロ株式会社  
 コード番号 1333 URL <https://www.maruha-nichiro.co.jp/home.html>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伊藤 滋  
 問合せ先責任者 (役職名) 広報IR部長 (氏名) 横山 嘉人 TEL 03-6833-0826  
 四半期報告書提出予定日 2019年11月11日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（証券アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

### 1. 2020年3月期第2四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年9月30日）

#### （1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	447,007	△0.3	9,896	△3.1	11,496	△3.4	8,114	△7.4
2019年3月期第2四半期	448,549	0.4	10,215	△21.2	11,897	△21.1	8,761	△4.3

（注）包括利益 2020年3月期第2四半期 7,310百万円（6.3%） 2019年3月期第2四半期 6,878百万円（△35.6%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	154.19	—
2019年3月期第2四半期	166.48	—

#### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	534,407	154,944	24.3
2019年3月期	520,318	150,379	24.1

（参考）自己資本 2020年3月期第2四半期 129,784百万円 2019年3月期 125,353百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	—	—	40.00	40.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	40.00	40.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	940,000	1.9	25,500	17.2	26,500	5.0	17,000	1.8	323.03

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、〔添付資料〕P. 6「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	52,656,910株	2019年3月期	52,656,910株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	31,270株	2019年3月期	30,528株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	52,625,989株	2019年3月期2Q	52,629,142株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は世界経済・競合状況・為替・金利の変動等にかかわるリスク等の様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項は、〔添付資料〕P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

四半期決算補足説明資料は2019年11月14日（木）に当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	6
(セグメント情報) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善するなかで、設備投資についても緩やかな増加傾向にあります。しかしながら、人手不足問題の慢性化や大型台風などの自然災害に伴う悪影響が大きなリスク要因となっています。

当社グループ関連業界におきましては、国内における水産物取扱量が引き続き低調であり、また、原材料費や物流費は高止まり状態となっていることから、依然として予断を許さない状況です。

このような状況のもと、当社グループでは中期経営計画「Innovation toward 2021」の2年目を迎え、その基本方針である「企業価値の向上と持続的成長」の実現のため、「収益力の更なる向上」「成長への取り組み」「経営基盤の強化」を推進する一方、コーポレートブランディング活動にも継続的に取り組んでまいりました。

当社グループの当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は447,007百万円（前年同期比0.3%減）、営業利益は9,896百万円（前年同期比3.1%減）、経常利益は11,496百万円（前年同期比3.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は8,114百万円（前年同期比7.4%減）となりました。

各セグメントの経営成績は次のとおりであります。

#### 漁業・養殖事業

漁業・養殖事業は、国内外の水産資源の持続可能かつトレーサビリティの確保できる供給源として、効率的な操業により収益の確保に努めました。

当第2四半期連結累計期間は、カツオの取扱増、マグロの出荷増により増収となりましたが、メロの漁獲減とマグロの原価高・カツオの魚価安により利益率が低下した結果、漁業・養殖事業の売上高は19,207百万円（前年同期比14.4%増）、営業利益は52百万円（前年同期比93.0%減）となりました。

#### 商事事業

商事事業は、国内外にわたる調達・販売ネットワークを持つ水産商事ユニット・畜産商事ユニット、市場流通の基幹を担う荷受ユニットから構成され、国内外の市場動向を注視しながらお客様のニーズに対応した的確な買付販売と水産加工工業の強化により、収益の確保に努めました。

水産商事ユニットは、量販店・外食向けを中心に増収となりましたが、マグロの相場下落や中国向け高級商材の販売不振により減益となりました。

荷受ユニットは、鮮魚全般の取扱高が減り、減収となりました。また、相場安や消費低迷により利益率も低下し、減益となりました。

畜産商事ユニットは、牛肉・豚肉が取扱増となり、また、豚肉の利益増により、増収増益となりました。

以上の結果、商事事業の売上高は214,475百万円（前年同期比0.6%減）、営業利益は1,415百万円（前年同期比17.2%減）となりました。

#### 海外事業

海外事業は、中国・タイにおける水産物・加工食品の販売に加え、オセアニアでの基盤を強化している海外ユニット、すりみ等の生産を中心とした北米商材の日本・北米・欧州での販売を展開する北米ユニットから構成され、水産物と加工食品の世界的な需要拡大に対応し、グローバル市場における収益の確保に努めました。

海外ユニットは、前年に比べ日本産青物魚の輸出事業等の売上が大きく落ち込みましたが、ニュージーランドでの漁獲好調とタイのペットフード事業での設備増強による操業効率の改善もあり、減収増益となりました。

北米ユニットは、欧州販売会社においては積極的な販売により増収となりましたが、マダラの減枠による取扱数量減、東カナダのカニ取扱数量減、鮭鱒の販売数量減及び相場下落等により、全体として減収減益となりました。

以上の結果、海外事業の売上高は80,235百万円（前年同期比3.6%減）、営業利益は2,989百万円（前年同期比7.7%増）となりました。

加工事業

加工事業は、家庭用冷凍食品の製造・販売を行う家庭用冷凍食品ユニット、缶詰・フィッシュソーセージ・ちくわ・デザート等の製造・販売を行う家庭用加工食品ユニット、業務用商材の製造・販売を行う業務用食品ユニット、及び化成品・調味料・フリーズドライ製品の製造・販売を行う化成ユニットから構成され、お客様のニーズにお応えする商品の開発・製造・販売を通じて収益の確保に努めました。

家庭用冷凍食品ユニットは、主力のお弁当カテゴリーの販売が減少し、それに伴う生産減の影響で、減収減益となりました。

家庭用加工食品ユニットは、ゼリーの販売が梅雨明けの遅れにより伸び悩んだことにより減収となりましたが、缶詰やフィッシュソーセージ等の価格改定が受け入れられたことにより、増益となりました。

業務用食品ユニットは、介護食、コンビニエンスストア、生協向け等の取り組みが下支えとなり、販売が好調に推移したことにより、増収増益となりました。

化成ユニットは、DHA・EPAやフリーズドライ製品の販売が引き続き好調に推移し、増収増益となりました。

以上の結果、加工事業の売上高は117,628百万円（前年同期比0.4%増）、営業利益は3,291百万円（前年同期比6.9%増）となりました。

物流事業

物流事業は、冷蔵保管事業において首都圏をはじめとする大都市圏の旺盛な保管需要を取り込んだことにより、増収となりました。また、燃料費調整単価の上昇等に伴う動力費の増加や労務コストの上昇があったものの、減価償却費等が減少した結果、売上高は8,277百万円（前年同期比0.4%増）、営業利益は997百万円（前年同期比26.0%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は534,407百万円となり、前連結会計年度末に比べ14,089百万円増加いたしました。これは主としてたな卸資産及び有形固定資産の増加によるものであります。

負債は379,462百万円となり、前連結会計年度末に比べ9,524百万円増加いたしました。これは主として長期借入金の増加によるものであります。

非支配株主持分を含めた純資産は154,944百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,565百万円増加いたしました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年5月13日に公表いたしました2020年3月期の通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	12,132	14,051
受取手形及び売掛金	114,040	114,953
たな卸資産	163,521	167,301
その他	10,084	15,539
貸倒引当金	△420	△437
流動資産合計	299,359	311,409
固定資産		
有形固定資産		
土地	47,723	47,742
その他(純額)	92,627	96,373
有形固定資産合計	140,351	144,116
無形固定資産		
のれん	8,060	7,540
その他	12,394	12,053
無形固定資産合計	20,454	19,594
投資その他の資産		
投資その他の資産	63,665	62,767
貸倒引当金	△3,512	△3,479
投資その他の資産合計	60,152	59,288
固定資産合計	220,958	222,998
資産合計	520,318	534,407
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	33,512	37,678
短期借入金	126,186	126,073
引当金	2,280	1,799
その他	41,813	39,796
流動負債合計	203,792	205,347
固定負債		
長期借入金	137,221	145,086
退職給付に係る負債	20,507	20,113
引当金	102	112
その他	8,313	8,802
固定負債合計	166,145	174,115
負債合計	369,938	379,462
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	20,000	20,000
資本剰余金	39,697	39,756
利益剰余金	62,113	68,646
自己株式	△72	△75
株主資本合計	121,739	128,327
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,098	4,037
繰延ヘッジ損益	14	12
為替換算調整勘定	△1,455	△2,492
退職給付に係る調整累計額	△42	△99
その他の包括利益累計額合計	3,614	1,457
非支配株主持分	25,025	25,160
純資産合計	150,379	154,944
負債純資産合計	520,318	534,407

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	448,549	447,007
売上原価	387,383	386,420
売上総利益	61,166	60,587
販売費及び一般管理費	50,950	50,690
営業利益	10,215	9,896
営業外収益		
受取配当金	610	649
雑収入	2,298	2,058
営業外収益合計	2,909	2,708
営業外費用		
支払利息	862	845
雑支出	365	262
営業外費用合計	1,227	1,107
経常利益	11,897	11,496
特別利益		
関係会社出資金売却益	948	—
受取賠償金	—	1,940
その他	1,656	647
特別利益合計	2,605	2,587
特別損失		
減損損失	331	—
災害による損失	201	351
その他	174	193
特別損失合計	707	545
税金等調整前四半期純利益	13,795	13,539
法人税等	4,320	4,197
四半期純利益	9,475	9,342
非支配株主に帰属する四半期純利益	713	1,227
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,761	8,114

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	9,475	9,342
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	482	△1,065
繰延ヘッジ損益	66	15
為替換算調整勘定	△2,630	△624
退職給付に係る調整額	△57	△58
持分法適用会社に対する持分相当額	△456	△299
その他の包括利益合計	△2,596	△2,032
四半期包括利益	6,878	7,310
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,127	5,956
非支配株主に係る四半期包括利益	△248	1,353

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

一部の連結子会社の税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	漁業・ 養殖	商事	海外	加工	物流	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	16,789	215,817	83,228	117,177	8,240	441,253	7,295	448,549	—	448,549
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	6,232	11,317	13,252	2,820	3,043	36,667	233	36,900	△36,900	—
計	23,022	227,134	96,481	119,998	11,284	477,921	7,529	485,450	△36,900	448,549
セグメント利益	739	1,708	2,776	3,080	791	9,096	626	9,723	492	10,215

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飼料等の保管業、海運業、不動産業及び毛皮・ペットフードの製造販売業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額492百万円には、セグメント間取引消去△29百万円及び全社費用配賦差額521百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	漁業・ 養殖	商事	海外	加工	物流	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	19,207	214,475	80,235	117,628	8,277	439,824	7,183	447,007	—	447,007
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	5,495	10,203	11,476	2,751	3,163	33,090	164	33,254	△33,254	—
計	24,702	224,678	91,712	120,380	11,441	472,914	7,347	480,262	△33,254	447,007
セグメント利益	52	1,415	2,989	3,291	997	8,746	594	9,340	555	9,896

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飼料等の保管業、海運業、不動産業及び毛皮・ペットフードの製造販売業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額555百万円には、セグメント間取引消去68百万円及び全社費用配賦差額486百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。